

東京 11 発走 15:35

第54回 アルゼンチン共和国内杯(GII) (3歳以上・オープン・調教(騎手・ハンデ))

Main race table with columns for race number (15), horse name, jockey, trainer, and various performance metrics. Includes a detailed table for the 11th race.



芝2500 良 2.31秒台 重 2.33秒台

- ① 2東⑤2.29 ② 2東⑥1.1 ③ 2東⑦2.2240 ④ 502.00.0 ⑤ 57川田 ⑥ 18.3.3.3 ⑦ 8.8.8.3.7.0 ⑧ 3.0.1.3.7.0 ⑨ 3.0.1.3.7.0

本紙の見解 充実一途のインテロ

WIN5 4 東京馬単 3連複 3連単 過去の成績 ハンデ有利 距離の適性

3連複 1511 1113 1611 1811 1513 1515 1516 1613 1813

本紙の見解 充実一途のインテロ モンドインテロは、オープン入り2戦目のメトロポリターNSを快勝。...

柏木の単連 ベテラン7歳クリールカイザリが坂路調教に慣れ、素晴らしい動きをみせた。...

勝、春の天皇賞も着だつた。0秒3差と善戦のアルパ...

競馬人情 吉良

11月3日、文化の日。3つのGIレースがあるJBC競走が行われた川崎競馬場は入場者が2万8718人。売り上げ48億7402万2285.0円(地方競馬の一日あたりの売り上げレコード更新)だった。拍手!乾杯!

11月4日の午後、私は川崎競馬場に行った。15時30分発走の第2R、スパーキングデビュー新馬(1400)に出走するコスモス(父フリオーソ、母カアラ、母の父ゴールドアリュール。河津裕昭厩舎、馬主岡田繁幸)を、人生の縁で応援に行ったのだ。死んでも仕方ない病気を患ってデビューが遅れたコスモスの話を知っている私は、山崎誠士

編集長の目

2日間に計13競走も行われるBCワールドチャンピオンSのメインは、ダート10Fの「BCクラシック」。日本時間の6日朝9時35分発走の2R。今年6戦6勝の5歳カリフォルニアアクロム(父ラッキープルビット)は、ドバイWCなど通算【15315】。対するのは3歳アロゲート(父アンブライドルソング)で、前回トラヴァーズSをレコードで大差勝ちし、通算【4010】。

そこにも登録のあった凱旋門賞馬ファウンドは、英チャンピオンS②着から、今度は同じ日本時間で6日朝7時22分発走の3R「BCターフ」に出走するから、タフな賞金かせぎの女王となった。

対するのは、14、15年の凱旋門賞②着の6歳フリントシャイ(父ダンジリ)。仏から米に移籍し通算【8113】。

スノーレコルト(父ハーツクライ)の挑戦する5R「フリー&メアターフ」は、過去6

を鞍上にパドックから本馬場へと向かうコスモスの姿を、息をつめて見送った。

「かなりの能力があるのは判っているけど、レースで、どのくらいの精神力を発揮できるか、それはやってみないと判らないよなあ。馬自身にしても判らないだろうし」と返し馬を見ながら、河津師のほとんどひとりごと。

ゲートがあき、コスモスはしっかり走って勝った。その瞬間の、感情を殺した河津師の表情が私には印象的だった。

東京でアルゼンチン共和国杯。シュヴァルグランが能力発揮という予感。馬単①③。あれっ、大魔神どんぶり!

京都でみやこS。私の本命はラニ。アメリカでの苦勞が花を咲かせる。馬単①⑥①①①。

重いが、必ずしもレベルの高くないUSAの芝のGIではない、アメリカ型は狙いの中心ではないとも、全体にアメリカ型ではないスノーレコルトにかなりチャンスはあるが、いま全盛期か? が死角か。

人気上位馬では、仏産で今年から北米に移った4歳シーカリス(父ユームザイン、その父シンダーも愛産)は魅力。奇跡の復活を乞ったレディライ(7100)にほかで互角の勝負に持ち込めそうなのはガリレオ産駒の3歳馬セブンス(父ヘムムア騎手)。前回の時計はあまりに平凡だが、オプライエン調教師は無理と判断していない。欧州のGI級なら通用するのである。

英のクイーンズトロストは、2戦連続してセブンス(父ヘムムア)の勝負。デットリ騎手に乗り替わってきた。まだ【1123】の3歳馬だが、時計勝負で一変がありえる。(相木)

藤本貴久の「耳鳴き」

東京5R パルフエクトゥス 終電間近、前を歩く女性が突然ハイヒールを脱ぎ猛ダッシュ! ロングヘアをなびかせながら走る姿はひと昔前のトレンディドラマ? 凄い瞬発力でした。「古馬相手に互角以上の動き。素質十分」

勝負の一手 郡和之

東京11R シュヴァルグラン 昨秋、今春にかけて中長距離での最大の上がり馬と目されてきた馬。GI2戦は③⑨着という結果に終わったが、いずれも決して力負けではなかった。牡馬にしては華奢に映すタイプだが、58歳をこなしているのは心強い材料。まだまだ強くなる。

- ◎AR共和国杯優勝馬の前走成績
- 21年 ミヤビランベリ 札幌記④
 - 22年 トーセンジョーダン 準OP①
 - 23年 トーセンジョーダン 準OP①
 - 24年 ルーシシュ 準OP②
 - 25年 アスカクリチャン オール④
 - 26年 フェイクムゲーム オール④
 - 27年 ゴールドアクター 準OP①



大川浩史

これで決まり

中京実績をチェック

今の東京芝は内側が掘れている。最後の直線もそうだが、向正面の内側がかなり掘れているように、前半から内をあげて走っている。

最後の直線で伸びるのは馬場の真ん中より少し内だが、そこもけっこう薄くなっていて、軽い切れ味タイプでは厳しそう。何しろ4回東京の芝では、ハ

《成績欄に「内・外」を表示》

「内回り」と「外回り」がある芝コース(中山・新潟・京都・阪神)を走った馬の成績欄は「千八内」や「二千外」などと表記してあります。

《10月30日(日)のWIN5》

WIN①...京都⑩R	マイティエンブレム	②人気	1469641
発売票数6920624票	残り票数	③人気	476329
WIN②...東京⑩R	アストラスピリット	④人気	25359
WIN③...新潟⑩R	ラインスマテラ	⑤人気	2698
WIN④...京都⑩R	ヒルノマテラ	⑥人気	
WIN⑤...東京⑩R	モーリス	⑦人気	

的中票数 549票 払戻金 88万2410円
次回へのキャリーオーバー 0円

▲トツパンデの成績

18年 アイボッパー	58
19年 アルナスライ	58
20年 トウカイトリック	58
21年 ミヤビランベリ	57
サンライズマックス	57
トーホウアラン	57
22年 トーセンジョーダン	57
23年 オウケンブルースリ	57
24年 アドマイヤラクティ	57
25年 アドマイヤラクティ	57
26年 デスカテール	57
27年 サトノノブレ	58

ピンジャヤ産駒の勝率がデイビーインバクト産駒の勝率よりもだいぶ高かった。

飛躍しすぎかもしれないが、今の東京芝は中京芝を得意とする馬に合っていると思う。インストアイベント(東京8R)は中京芝(1133)。今の東京芝は合っているはず。前走も馬場は合っていたが、平均ペースの大逃げにはまってしまった。普通のレースなら狙える。

アドマイヤミヤビ(東京9R)は中京の新馬戦②着が迫力あるギリ脚(っ)だった。前走で切れ味も見せたが、東京二千向き。